

IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.7.1 暫定修正 0060 Readme ファイル

日付:2004 年 8 月

名称:3.7.1-TEC-0060

コンポーネント:IBM® Tivoli Enterprise Console® バージョン 3.7.1

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、特記事項に記載されている情報をお読みください。

第 1 版 (2004 年 8 月)

本書は IBM Tivoli Enterprise Console のバージョン 3.7.1 (プログラム番号 5697-EAS) に適用されます。

(C) Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

目次

この暫定修正について

- 暫定修正の内容
- この暫定修正で置き換えられたパッチ
- サポートされるプラットフォームおよびデータベース

この暫定修正での新機能

インストール情報

- 前提条件
- 暫定修正の注意事項
- インストールの手順

この暫定修正に付属する APAR 修正

既知の制限事項

文書の更新

特記事項および商標

この暫定修正について

この節では、この暫定修正の一般情報を説明します。この文書全体を読んだから、この暫定修正をインストールすることを強くお勧めします。

暫定修正の内容

3.7.1-TEC-0060.tar ファイルには、この暫定修正のための以下のものが含まれています。

- この readme ファイル
- イメージ・レポート
- CD-ROM イメージ

文書形式:この readme 文書は、Adobe Acrobat Portable Document Format (PDF) 形式でのみ提供されるようになりました。

この暫定修正で置き換えられたパッチ

以下のパッチが、この暫定修正で置き換えられました。

- 3.7.1-TEC-0047LA
- 3.7.1-TEC-0048LA
- 3.7.1-TEC-0049LA
- 3.7.1-TEC-0050LA

サポートされるプラットフォームおよびデータベース

この節では、この暫定修正でサポートされるプラットフォームおよびデータベースをリストします。

プラットフォーム	コンポーネント		
	サーバー/ ゲートウェイ	エンドポイント・ アダプター	UI サーバーおよび コンソール
AIX 5.1	X	X	X
AIX 5.1.0.c	X	X	X
AIX 5.2	X	X	X
Solaris 2.6 ¹	X	X	X
Solaris 7	X	X	X
Solaris 8	X	X	X
Solaris 9	X	X	X
HP-UX 11	X	X	X
HP-UX 11i	X	X	X
Windows® 2000 Professional	X	X	X
Windows 2000 Server	X	X	X
Windows 2000 Advanced Server	X	X	X
Windows XP Professional	X	X	X
Windows Server 2003	X	X	X
OS/400 5.1,5.2		⁵	
Red Hat Advanced Server 2.1	X	X	X
United Linux 1/ SuSE SLES 8 for IA32		X	
Novell Netware 5.1/6.0		X	
Compaq Tru64 5.1b		X	
Siemens Reliant UNIX 5.4.5		X	
SGI Irix 6.5.x		X	
SCO UnixWare 7.1.1/7.1.3		X	
Solaris 7.8 (Intel)		X	
SuSe SLES 7 for IA32	X	X	X

注:

1. Solaris は、Solaris オペレーティング環境のことを指し、以降は Solaris と呼びます。
2. このプラットフォーム・サポート表は、この暫定修正の時点で有効な情報に基づいています。この表は、オペレーティング・システムのベンダーが示す、製造中止になっていないオペレーティング・システムを反映しています。最新のサポート情報に関しては、IBM が提供するオンライン・サポートを参照してください。
3. Windows NT® オペレーティング・システムはサポートされませんが、Windows NT イベント・ログ・アダプターをアダプター構成機能の一部として使用でき、Windows NT イベント・ログ・アダプターを Windows NT エンドポイントに配布できます。
4. 64 ビット・サポートは、32 ビット・モードでのみ提供されます。
5. 非 TME アダプターが用意されています。エンドポイント・アダプターは用意されていません。

サポートされる データベース
DB/2 7.2 (FP7)
DB/2 8.1 (FP2)
Informix 9.3
MS SQL Server 7.0
MS SQL Server 2000
Oracle 9i
Oracle 9i v2
Sybase 12.0
Sybase 12.5

この暫定修正での新機能

この暫定修正には、新機能はありません。

インストール情報

この節では、IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.7.1 用の 3.7.1-TEC-0060 暫定修正のインストール情報を説明します。

前提条件

フィックスパック 3.7.1-TEC-FP06 がインストールされた IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.7.1 Linux オペレーティング・システムを使用する環境では、IBM Tivoli Enterprise Console for Linux 3.7.1-TEC-LINUX IBM Tivoli Management Framework バージョン 3.7.x、4.1、または 4.1.1 Tivoli Enterprise Console 製品に付属する Tivoli NetView 機能を使用する場合は、IBM Tivoli® NetView® バージョン 7.1.2 または 7.1.3

以下の表は、Tivoli Management Framework のバージョン別の推奨パッチと、固有のインストール・シナリオを示しています。

IBM Tivoli Management Framework バージョン	パッチ
3.7b	3.7-TMF-0030
3.7.1	3.7.1-TMF-0097、3.7.1-TMF-0098、 3.7.1-TMF-0099、3.7.1-TMF-0110
4.1	4.1-TMF-0010E、4.1-TMF-0013、4.1-TMF-0014、 4.1-TMF-0015 (Linux PPC サポート)、4.1-TMF-0019

インストール・シナリオ	パッチ
単一ポートで大量データ転送プログラム (BDT) を使用する Software Installation Service (SIS) バージョン 3.7.1 を使用してインストールする	3.7.1-TMF-0097 パッチは必要ありません。
Software Installation Service (SIS) バージョン 4.1 を使用してインストールする	4.1-SISCLNT-0002、4.1-SISDEPOT-0002
Software Installation Service (SIS) バージョン 4.1.1 を使用してインストールする	パッチは必要ありません。

暫定修正の注意事項

この暫定修正には、注意事項はありません。

資料の変更についての詳細は、『資料の更新』の節もお読みください。

インストールの手順

この節では、この暫定修正のインストールの手順を説明します。

1. 暫定修正を解凍します。

UNIX® システムで内容を一時ディレクトリーに解凍するには、次のコマンドを使用します。この例では、PATCH 変数はこの一時ディレクトリーを指すものとします。

```
cd $PATCH
tar -xvf 3.7.1-TEC-0060.tar
```

Windows オペレーティング・システムで内容を一時ディレクトリーに解凍するには、次のコマンドを使用します。この例では、%PATCH% 変数はこのディレクトリーを指し、X は %PATCH% が存在するドライブ名であるとしてします。

```
%SystemRoot%\%system32%\drivers\%etc%\Tivoli\%setup_env.cmd
X:
> cd %PATCH%
> tar -xvf 3.7.1-TEC-0060.tar
```

注:Windows システムで TAR イメージを解凍する場合、TAR ユーティリティーの実行可能ファイルは、次の Tivoli インストール・ディレクトリーにあります。bin/w32-ix86/tools/tar.exe.

2. 次の指示は、Software Installation Service (SIS) を使用する場合に適用されます。SIS を使用しない場合、ステップ 3 へ進みます。

インストール上の注意事項:

- 1) SIS を使用して、Tivoli ソフトウェアでサポートされているほとんどのプラットフォームで Tivoli ソフトウェアをインストールできます。ただし、一部のハードウェア・プラットフォームでは、SIS を実行できません。SIS を実行できるプラットフォームのリストは、「*Tivoli Enterprise インストール・ガイド*」を参照してください。関連する SIS パッチについては、本書の『前提条件』の節を参照してください。
- 2) この暫定修正を正常にインストールするためには、インストール製品とスーパー権限の役割が必要です。
 - a) Tivoli デスクトップのメニュー・バーで、「デスクトップ」->「インストール」->「Software Installation Service」の順にクリックします。
 - b) 「インストール・パスワードの入手」ウィンドウで、インストール・パスワードを入力します。
 - c) Tivoli ロゴが示されたウィンドウで、「インストール」をクリックします。
 - d) 「スプレッドシートのインストール」ウィンドウで、「製品の選択」をクリックします。
 - e) 「製品の選択」ウィンドウで、「製品のインポート」をクリックします。
 - f) ファイル・ブラウザを使用して、3.7.1-TEC-0060 のメディアを探し、PATCHES.LST ファイルをダブルクリックします。
 - g) 「製品のインポート」ウィンドウで、**3.7.1-TEC-0060** を選択して、「インポート」をクリックします。
 - h) ファイルがインポートされたら、「全体の進捗」ウィンドウで、「OK」をクリックします。
 - i) 「製品の選択」ウィンドウで、**3.7.1-TEC-0060** 暫定修正を選択して、「OK」をクリックします。
 - j) 「スプレッドシートのインストール」ウィンドウで、「マシンの選択」をクリックします。
 - k) **3.7.1-TEC-0060** をインストールする予定のマシンを選択し、「OK」をクリックします。
 - l) 「スプレッドシートのインストール」ウィンドウで、該当するセルを選択します。**3.7.1-TEC-0060** をインストールするマシンのセルには、X という文字が示されます。
 - m) 「インストール」をクリックします。
 - n) 「インストール・アルゴリズム」ウィンドウで、使用するインストール・アルゴリズムを選択して、「OK」をクリックします。SIS は、「スプレッドシートのインストール」ウィンドウで要求したインストールを実行します。ステップ 3 を飛ばし、ステップ 4 を行ってインストールを完了します。

3. 従来の Tivoli インストール・メカニズムを使用して暫定修正をインストールするには、以下の手順を実行します。
インストール上の注意事項:この暫定修正を正常にインストールするには、インストール製品とスーパー権限の役割が必要です。
 - a) Tivoli デスクトップのメニュー・バーで、「デスクトップ」->「インストール」->「パッチのインストール」の順にクリックし、「パッチのインストール」ウィンドウを表示します。
 - b) 「パッチのインストール」ウィンドウで、「メディアの選択」をクリックして「ファイル・ブラウザー」ウィンドウを表示します。
 - c) 「ファイル・ブラウザー」ウィンドウで、暫定修正 \$PATCH を含むディレクトリーへのパスを「パス名」フィールドに入力します。
 - d) 「メディアの設定 & クローズ」をクリックして、「パッチのインストール」ウィンドウへ戻ります。
 - e) 「パッチのインストール」ウィンドウで、暫定修正の名前をクリックします。
 - f) 暫定修正をインストールする対象のクライアントを選択します。暫定修正は、一般的に Tivoli サーバーおよび各 Tivoli クライアントへインストールする必要があります。
 - g) 「インストール」をクリックします。
4. 暫定修正のインストールが完了したら、イベント・サーバーを再始動します。

この暫定修正に付属する APAR 修正

この節では、3.7.1-TEC-0060 暫定修正で用意された APAR 修正の記述と解決を説明します。

APAR IY39339

症状:複数のクリア・イベントが同じイベント・クラスを持つときに、`create_clearing_event()` 述部を使用して複数のクリア・イベントを作成できません。最初のクリア・イベントは作成されますが、その後に同じイベント・クラスのクリア・イベントを作成しようとすると失敗します。

解決:同じイベント・クラスを持つ複数のクリア・イベントを作成できるようになりました。

APAR IY42237

症状:ルール・アクションの本文に、引用ストリングの一部としての閉じ括弧を含む `first_instance()`、`all_instances()`、`first_duplicate()`、または `all_duplicates()` 述部がある場合、ルールは正しくコンパイルしません。

解決:ルール・アクションの本文に、引用ストリングの一部としての閉じ括弧を含む `first_instance()`、`all_instances()`、`first_duplicate()`、または `all_duplicates()` 述部のいずれかがあっても、ルールは正しくコンパイルするようになりました。

APAR IY47287

症状:`tec_rule` プロセスは、SIGSEGV 211 エラーで停止します。

ルール内で無効な割り当てが行われた場合、イベント構造内でメモリー問題が生じた可能性があります。これにより、`tec_rule` プロセスが SIGSEGV 211 エラーで停止することがあります。無効な割り当ては、大抵は、書式が間違っているか引き数の数が正しくない `sprintf/3` 呼び出しであるか、最初か 2 番目の引き数がアトムではない `atomp/4` 呼び出しです。失敗している `prolog` 呼び出しを判別しやすくするため、ルール・ベースの追跡を初期設定して、ルール内の `TEC_Start` イベントで `tell_err('/tmp/prolog_err.out')` 呼び出しを発行します。

解決:`tec_rule` プロセスが停止しないようにするため、イベント構造が処理されないようにする検査が追加されました。次の警告メッセージが、`/tmp/tec_rule.log` ファイルに書き込まれます。

WARNING: Number of last out of bounds: last = *number*

number の値は、通常はメモリー・アドレスを表す 500 より大きな整数です。

APAR: IY49463

症状:`wconsole -lsoperator -a` コマンド出力は、コンソールに割り当てられたオペレーターをリストしますが、それらのオペレーターは `wconsole -lsconsole -a` コマンド出力にはリストされていません。

解決:オペレーターは、`wconsole -lsconsole -a` コマンド出力にリストされました。

APAR IY50864

症状:拡張された期間にルールの追跡を使用すると、イベント・サーバーが停止します。

解決:ルールの追跡処理での問題は訂正され、イベント・サーバーが停止することはなくなりました。

APAR IY51464

症状:TEC_Stop イベントで `commit_set` 述部を使用すると、ルールのプロファイルが正しく機能しません。

解決:ルール・セットに、TEC_Stop イベント用の `commit_set` 述部が含まれる場合、プロファイル統計をダンプする特別なプロファイル・ルールが起動しなくなります。これにより、イベント・サーバーが停止した後は、`/tmp/profile` ファイルは表示されなくなります。そのため、ルールのプロファイル時には、TEC_Stop イベントと共に `commit_set` 述部を使用しないでください。

APAR IY52425

症状:UNIX logfile アダプターは、アダプター構成機能で `-s` パラメーターが指定されているかどうかに関わらず、`syslog` イベントをモニターします。

解決:アダプターは、`-s` 構成パラメーターを正しく認識し、その設定に応じて `syslog` イベントをモニターするか無視します。

APAR IY53206

症状:イベントが、2048 文字よりも長い `LIST_OF STRING` スロットでイベント・データベースからロードされると、`tec_dispatch` プロセスは始動時に `SIGSEGV` エラーで停止します。

解決:`tec_dispatch` プロセスは実行を継続し、スロットの余った文字は、切り捨てられて省略符号 (...) で置き換えられます。

APAR IY53223

症状:`generate_event()` 述部で作成された `drop_received_event()` イベントが削除されるときに、`tec_rule` プロセスでメモリー・リークが生じました。

解決:内部的に生成されたイベントを削除するときに、`tec_rule` プロセスでのメモリー・リークは生じません。

APAR IY53842

症状:DISPLAY 値が :0.0 である場合、ユーザーはリモート・コンソールでカスタム・ボタンを使用できません。これは、DISPLAY 値が、カスタム・ボタンで起動するコマンドに渡されないためです。

解決:コンソールでは、カスタム・ボタンで起動するプロセスにすべての環境変数を渡すようになりました。

APAR IY53900

症状:Solaris システムで `wstopesvr` コマンドが発行されると、次のメッセージが `syslog` に書き込まれます。

```
panic:assert:"SHOULDNT_HAPPEN". cprocs.c:348
```

解決:`wstopesvr` コマンドが発行されても、このメッセージは書き込まれなくなりました。

APAR IY54504

症状:「タスク選択リスト (Task Choice List)」ウィンドウに、DBCS 文字が間違って表示されます。このことは、`ButtonLabel` および `ChoiceFile` を使用しているときに生じ、`ChoiceFile` で使用されるファイルが、Java バージョンのイベント・コンソールとは違うエンコードを持つマシン上に作成されました。たとえば、EUC_JP を使用する Solaris システムでファイルが作成され、Java コンソールは Windows エンコードを使用している場合です。

解決:Windows システムの `tec_console.cmd` ファイルまたは UNIX システムの `tec_console` ファイルを編集し、`TEC_ENCODING` 環境変数を変更してサーバー上で使用している基本エンコード・セットを指定します。基本エンコード・セットのリストは、『[文書の更新](#)』の節を参照してください。

APAR IY54538

症状:`wsendresp` コマンドを実行するトラブル・チケットを実行するために複数のイベントが選択された場合、表示されるメッセージには、選択されたイベントのリストで最後のイベントに関する情報だけが示されます。他のイベントの情報は示されません。

解決:固有であることを示すイベント ID がメッセージに追加されました。

APAR IY55053

症状:Java バージョンのイベント・コンソールに表示されたイベントは、重大度でソートできません。

解決:イベントを重大度でソートできるようになりました。

APAR IY55954

症状:非 TME logfile アダプターは、`TISDIR` 環境変数を設定しません。

解決:`TISDIR` 環境変数が設定されるようになりました。

APAR IY55968

症状:ルール・パックを含む既存のルール・ベースからコピーされたルール・ベースをコンパイルするときに、TEC_RULES ディレクトリーの rule_packs ファイルに余分な引用符が挿入されるため、コンパイル・エラーを受け取ります。

解決:ルール・パックを含む既存のルール・ベースからのルール・ベースをコンパイルする場合、余分な引用符は挿入されず、ルール・ベースは正しくコンパイルされます。

APAR IY56530

症状:Windows システムの SNMP アダプターでドイツ語を使用するときに、テキスト内のウムラウト付きの varbind 情報を使用すると、varbind の値が実際のテキストではなく 16 進数に変換されます。

解決:ウムラウト付きのテキストは正しく表示されるようになりました。

APAR IY57911

症状:tec_task プロセスでは、先頭に tec_t が付けられたすべてのファイルが /tmp ディレクトリーから除去されません。

解決:一時ファイルは正しく除去されるようになりました。しかし、作成したスクリプトまたはタスクが存在しない場合、それが存在するまでファイルは除去されません。

既知の制限事項

この暫定修正には、既知の制限事項はありません。

文書の更新

APAR IY54505

C バージョンの tec_create_handle API のために、次の情報が「*IBM Tivoli Enterprise Console Event Integration Facility* リファレンス」に追加されました。

Tivoli Application Development Environment を使用して TME アダプターを作成するときには、tec_create_handle API が tis_set_def_cs 関数を呼び出すことに注意してください。この関数は、他の tis 呼び出しのためにデフォルトのコード・セットを設定します。非 TME アダプターを作成するときには、ロケールは Event Integration Facility とは別に設定されるので、tec_create_handle API を呼び出してもロケールは変更されません。

APAR IY54504

次に示す基本エンコード・セットのリストは、サーバー上で使用する基本エンコード・セットを指定するための TEC_ENCODING 環境変数で指定できます。

Big5	Big5、中国語 (繁体字)
Big5_HKSCS	香港拡張付きの Big5、中国語 (繁体字)
Cp037	USA、カナダ (バイリンガル、フランス語)、オランダ、ポルトガル、ブラジル、オーストラリア
Cp273	IBM オーストリア、ドイツ
Cp277	IBM デンマーク、ノルウェー
Cp278	IBM フィンランド、スウェーデン
Cp280	IBM イタリア
Cp284	IBM カタロニア語/スペイン、スペイン語圏ラテン・アメリカ
Cp285	IBM 英国、アイルランド
Cp297	IBM フランス
Cp420	IBM アラビア語
Cp424	IBM ヘブライ語
Cp437	MS-DOS 米国、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ
Cp500	EBCDIC 500V1
Cp737	PC ギリシャ語
Cp775	PC バルト語
Cp838	IBM タイ語拡張 SBCS
Cp850	MS-DOS Latin-1
Cp852	MS-DOS Latin-2

Cp855	IBM キリル文字
Cp856	IBM ヘブライ語
Cp857	IBM トルコ語
Cp858	ユーロ文字付き Cp850 の変形
Cp860	MS-DOS ポルトガル語
Cp861	MS-DOS アイスランド語
Cp862	PC ヘブライ語
Cp863	MS-DOS カナダ・フランス語
Cp864	PC アラビア語
Cp865	MS-DOS 北欧ゲルマン系言語
Cp866	MS-DOS ロシア語
Cp868	MS-DOS パキスタン
Cp869	IBM 現代ギリシャ語
Cp870	IBM Multilingual Latin-2
Cp871	IBM アイスランド
Cp874	IBM タイ
Cp875	IBM ギリシャ語
Cp918	IBM パキスタン (ウルドゥー語)
Cp921	IBM ラトビア、リトアニア (AIX、DOS)
Cp922	IBM エストニア (AIX、DOS)
Cp930	4370 UDC と混合した日本語カタカナ漢字、5026 のスーパーセット
Cp933	1880 UDC と混合した韓国語、5029 のスーパーセット
Cp935	1880 UDC と混合した中国語 (簡体字) ホスト、5031 のスーパーセット
Cp937	6204 UDC と混合した中国語 (繁体字) ホスト、5033 のスーパーセット
Cp939	4370 UDC と混合した日本語ラテン漢字、5035 のスーパーセット
Cp942	IBM OS/2 日本語、Cp932 のスーパーセット
Cp942C	Cp942 の変形
Cp943	IBM OS/2 日本語、Cp932 および Shift-JIS のスーパーセット
Cp943C	Cp943 の変形
Cp948	OS/2 中国語 (台湾)、938 のスーパーセット
Cp949	PC 韓国語
Cp949C	Cp949 の変形
Cp950	PC 中国語 (香港、台湾)
Cp964	AIX 中国語 (台湾)
Cp970	AIX 韓国語
Cp1006	IBM AIX パキスタン (ウルドゥー語)
Cp1025	IBM マルチリンガル・キリル文字:ブルガリア、ボスニア、ヘルツェゴビナ、マケドニア (FYR)
Cp1026	IBM Latin-5、トルコ語
Cp1046	IBM アラビア語 - Windows
Cp1097	IBM イラン (ペルシャ語)/ペルシャ語
Cp1098	IBM イラン (ペルシャ語)/ペルシャ語 (PC)
Cp1112	IBM ラトビア、リトアニア
Cp1122	IBM エストニア
Cp1123	IBM ウクライナ
Cp1124	IBM AIX ウクライナ
Cp1140	ユーロ文字付き Cp037 の変形
Cp1141	ユーロ文字付き Cp273 の変形
Cp1142	ユーロ文字付き Cp277 の変形
Cp1143	ユーロ文字付き Cp278 の変形
Cp1144	ユーロ文字付き Cp280 の変形
Cp1145	ユーロ文字付き Cp284 の変形
Cp1146	ユーロ文字付き Cp285 の変形
Cp1147	ユーロ文字付き Cp297 の変形
Cp1148	ユーロ文字付き Cp500 の変形

Cp1149	ユーロ文字付き Cp871 の変形
Cp1250	Windows 東ヨーロッパ語
Cp1251	Windows キリル文字
Cp1253	Windows ギリシャ語
Cp1254	Windows トルコ語
Cp1255	Windows ヘブライ語
Cp1256	Windows アラビア語
Cp1257	Windows バルト語
Cp1258	Windows ベトナム語
Cp1381	IBM OS/2、DOS 中華人民共和国 (PRC)
Cp1383	IBM AIX 中華人民共和国 (PRC)
Cp33722	IBM-eucJP – 日本語 (5050 のスーパーセット)
EUC_CN	GB2312、EUC エンコード、中国語 (簡体字)
EUC_JP	JIS X 0201、0208、0212、EUC エンコード、日本語
EUC_JP_LINUX	JIS X 0201、0208、EUC エンコード、日本語
EUC_KR	KS C 5601、EUC エンコード、韓国語
EUC_TW	CNS11643 (プレーン 1-3)、EUC エンコード、中国語 (繁体字)
GBK	GBK、中国語 (簡体字)
ISO2022CN	ISO 2022 CN、中国語 (ユニコードへの変換のみ)
ISO2022CN_CNS	ISO 2022 CN 形式の CNS 11643、中国語 (繁体字) (ユニコードからの変換のみ)
ISO2022CN_GB	ISO 2022 CN 形式の GB 2312、中国語 (簡体字) (ユニコードからの変換のみ)
ISO2022JP	ISO 2022 形式の JIS X 0201、0208、日本語
ISO2022KR	ISO 2022 KR、韓国語
ISO8859_2	ISO 8859-2、Latin アルファベット No. 2
ISO8859_3	ISO 8859-3、Latin アルファベット No. 3
ISO8859_4	ISO 8859-4、Latin アルファベット No. 4
ISO8859_5	ISO 8859-5、Latin/キリル文字アルファベット
ISO8859_6	ISO 8859-6、Latin/アラビア文字アルファベット
ISO8859_7	ISO 8859-7、Latin/ギリシャ文字アルファベット
ISO8859_8	ISO 8859-8、Latin/ヘブライ文字アルファベット
ISO8859_9	ISO 8859-9、Latin アルファベット No. 5
ISO8859_13	ISO 8859-13、Latin アルファベット No. 7
ISO8859_15_FDIS	ISO 8859-15、Latin アルファベット No. 9
JIS0201	JIS X 0201、日本語
JIS0208	JIS X 0208、日本語
JIS0212	JIS X 0212、日本語
JISAutoDetect	Shift-JIS、EUC-JP、ISO 2022 JP から検出および変換 (ユニコードへの変換のみ)
Johab	Johab、韓国語
KOI8_R	KOI8-R、ロシア語
MS874	Windows タイ語
MS932	Windows 日本語
MS936	Windows 中国語 (簡体字)
MS949	Windows 韓国語
MS950	Windows 中国語 (繁体字)
MacArabic	Macintosh アラビア語
MacCentralEurope	Macintosh Latin-2
MacCroatian	Macintosh クロアチア語
MacCyrillic	Macintosh キリル文字
MacDingbat	Macintosh Dingbat
MacGreek	Macintosh ギリシャ語
MacHebrew	Macintosh ヘブライ語
MacIceland	Macintosh アイスランド
MacRoman	Macintosh Roman
MacRomania	Macintosh ルーマニア

MacSymbol	Macintosh シンボル
MacThai	Macintosh タイ語
MacTurkish	Macintosh トルコ語
MacUkraine	Macintosh ウクライナ語
SJIS	Shift-JIS、日本語
TIS620	TIS620、タイ語

変更されたファイル:

この暫定修正で、以下のファイルが変更されています。

TME/TEC/tec_console.jar
 TME/TEC/tec_dispatch
 TME/TEC/tec_reception
 TME/TEC/tec_server
 TME/TEC/tec_rule
 TME/TEC/tec_rule_data
 TME/TEC/tec_task
 TME/TEC/tec_rb.jar
 bin/aix4-r1/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/hpux10/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/solaris2/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/aix4-r1/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/hpux10/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/solaris2/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/aix4-r1/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/hpux10/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/solaris2/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_nt.exe
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecadnts.exe
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_win.exe
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecadwins.exe
 bin/aix4-r1/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
 bin/hpux10/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
 bin/solaris2/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp.exe
 bin/w32-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmps.exe
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/mips-irix5/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/mips-irix5/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/osf-axp/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/osf-axp/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/sequent/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/sequent/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/solaris2-ix86/TME/TEC/adapters/bin/init.tecad_logfile
 bin/solaris2-ix86/TME/TEC/adapters/bin/update_conf
 bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/mips-irix5/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
 bin/osf-axp/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile

bin/sequent/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
bin/solaris2-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_logfile
bin/linux-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
bin/linux-s390/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
bin/mips-irix5/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
bin/osf-axp/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
bin/sequent/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp
bin/solaris2-ix86/TME/TEC/adapters/bin/tecad_snmp

カスタマー・サポートとの連絡

資料およびカスタマー・サポートについては営業担当員にお問い合わせください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM はまたこれらの情報に掲載されている製品やプログラムを何時でも、予告なしに改善または変更することがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
2Z4A/101
11400 Burnet Road
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

商標

IBM、IBM ロゴ、AIX、DB2、IBMLink、Informix、OS/2、OS/400、Tivoli、Tivoli ロゴ、Tivoli Enterprise Console、および TME は、IBM Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。